

令和5年度第11回 感染症発生動向調査協議会

令和6年2月21日

月番： 澤田 明

1 前月の感染症発生動向について（2024年第1週～5週・1月）

<全数把握対象疾患>

- ・ 一類感染症の報告はなかった。
- ・ 結核は17例あり、毎週コンスタントに報告された（前年比：85.0%，2019年比：51.5%）。高齢者および若年層の2峰性分布を認めた。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症は、1例（その他）報告された
- ・ 四類感染症の報告は、E型肝炎1例、つつが虫病1例、レジオネラ症1例であった。
- ・ 五類感染症
 - ✓ アメーバ赤痢1例、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例（前年比：300.0%，2019年比：300.0%）、侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症8例（前年比：160.0%，2019年比：100.0%）などの報告があった。
 - ✓ 梅毒は8例報告された（前年比：88.9%，2019年比：266.7%）。

<定点把握対象疾患>

- ・ 前月と比較し増加傾向にある疾患
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症（前月比：217.9%）
- ・ 前月と比較し減少傾向にある疾患
 - ✓ インフルエンザ（前月比：56.7%，前年同期比：437.9%，2019年比：31.9%）
 - ✓ 咽頭結膜熱（前月比：26.0%，前年同期比：736.4%，2019年比：306.4%）
 - ✓ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（前月比：69.8%，前年同期比：1825.0%，2019年比：211.8%）
全国と比較すると岐阜県は少なめ

2 検討すべき課題

（事務局から）

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数の増加について

3 その他（感染症対策推進課から）

- ・ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の分離株の解析について
- ・ CRE 感染症治療薬セフィデロコルトシル酸塩硫酸塩水和物（フェトロージャ点滴静注用1g）の適正使用について
- ・ HPV ワクチンのキャッチアップ接種に係る周知等について
- ・ 国内における鳥インフルエンザ発生状況
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症に関する注意喚起について
- ・ 急性呼吸器感染症サーベイランスの実装に向けた調査研究について

<検討結果>